

科目名	国際コミュニケーション I	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			総合政策学部 学科	□必修 ■選択 □必修 □選択	
英文表記	Global Communication I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	ドナルド ウッド	実務家教員担当科目		習得単位	2単位
担当者名	Donald C. Wood	実務方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	今日、最も重要な地球規模の問題は何でしょうか？ 私たちはそれについてどう考えるべきでしょうか？ 地球市民として、私たちはそれらの解決に何ができるでしょうか？ 私たちはそれらについての考えをどのように共有できるでしょうか？ これらの問題は私たちが住む地域にどのような影響を与えているのでしょうか？ 国連の持続可能な開発目標（SDGs）とは何でしょうか？				
到達目標	このコースを受講すると、学生は重要な世界的問題についてより深い知識を身につけ、それらの問題についてより批判的に考え、幅広い人々と議論する準備が整います。				
授業概要	今日、私たちは多くの問題に直面しています。地球の生命維持能力を脅かすほど深刻な問題もあります。この能力を守り、人類全体の生活を向上させるために、国連は2016年1月1日に17の持続可能な開発目標（SDGs）を制定しました。このコースは、英語と日本語で国連のSDGsに関連してさまざまな地球規模の問題について学習し、議論することで、生徒が考え、考えを伝える準備を整え、より知識のある地球市民になることを目指しています。これらの問題の地球規模および地域的関連性を考慮します。				
授業計画					
第1回	Introductions, explanations, etc. + UN Sustainable Development Goals				
第2回	Textbook chapter 1: Global perspectives				
第3回	Textbook chapter 2: Climate change (quiz #1)				
第4回	Textbook chapter 3: Water				
第5回	Textbook chapter 4: Clean energy (quiz #2)				
第6回	Textbook chapter 5: Poverty				
第7回	Textbook chapter 6: Hunger (quiz #3)				
第8回	Textbook chapter 7: Children				
第9回	Textbook chapter 8: Gender (quiz #4)				
第10回	Textbook chapter 9: Refugees				
第11回	Textbook chapter 10: Insects (quiz #5)				
第12回	Textbook chapter 11: Vegetarianism				
第13回	Textbook chapter 12: Plastic waste (quiz #6)				
第14回	Textbook chapter 13: Shopping				
第15回	Textbook Chapter 14, final discussion on UN SDGs, wrap-up, final exam review				
第16回	Final Exam (定期テスト)				
授業時間外の学習	学生は各章を事前に読み、前回の授業で出された質問に対する回答を準備するか、教師が用意した「回答シート」に回答を記入する必要があります。これにより、授業中にアイデアを共有しやすくなります。学生はまた、定期的な小テストと期末試験に向けて勉強する必要があります。				
履修条件 受講のルール	学生は授業に出席し、注意を払い、参加することが求められます。				
テキスト	地球市民として生きる：英語で学ぶSDGs実践入門・K. Oseki & K.M. McManus・南雲堂 2021年				
参考文献・資料	教員は教室で説明します。				

成績評価の方法	定期(期末)テスト:30%・定期クイズ(6回?):50%・「回答シート」・ディスカッションへの参加:20% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	基本的に月曜日の午後(教員は説明します)
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	特にありません。ただし、授業内容は、学生の社会の一員としての生活やアルバイトなどと関係がある場合もあります。
学生へのメッセージ	教科書は英語で書かれていますが、「英語の授業」ではありません。したがって、講師は読解文章に日本語訳を付け、ゆっくりとわかりやすく進めていきます。学生は英語で書いたり話したりする必要はありません。(There is no requirement for students to write or speak in English.)